

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

2027年3月期 第1四半期 連結決算の概要

2026年8月7日

連結：減収・損失縮小

売上高	15,128百万円(△ 418百万円)
営業利益	△ 121百万円(54百万円)

売	上：	注力事業のがん治療領域や海外向けAVF針（血液透析用針）が好調に推移したことに加え、中東情勢を背景とした需要増により増収効果があったものの、海外向け血液バッグ等の減少により減収
利	益：	海外向け製品の減収影響があったものの、コスト削減効果により前年同期から損失幅は縮小し改善傾向

システム別売上高

血液・細胞：	成分献血用回路が増加したものの、アジア及びアフリカ向け血液バッグが減少	
透	析：	欧州向け透析用チェアや中国向け血液透析用装置が減少したものの、欧州や中国でAVF針が好調に推移し微増

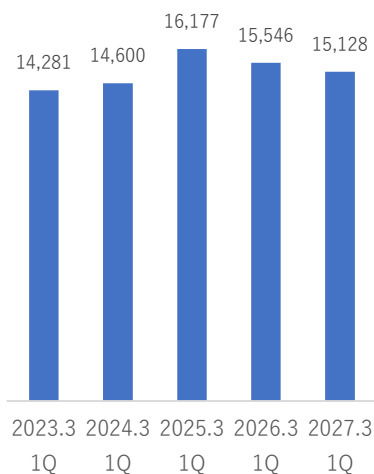
地域別売上高

日	本：	取扱いを終了した自己血回収装置が減少したものの、薬剤調製・投与クロースドシステムが引き続き伸長、需要が高まった手術用手袋が伸長し微増	
そ	の	他：	アフリカ向け血液バッグが減少

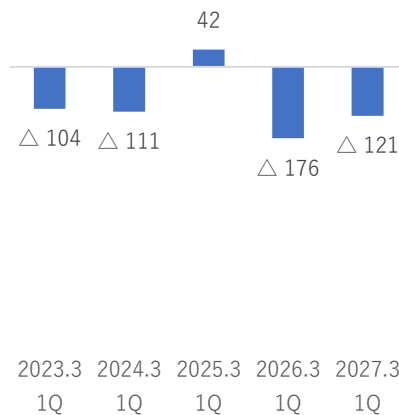
(単位：百万円)

	2026年 3月期 1Q	2027年 3月期 1Q	増減額	増減率
売上高	15,546	15,128	△ 418	△ 2.7%
営業利益	△ 176	△ 121	54	—
経常利益	△ 283	△ 114	169	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 459	△ 379	79	—

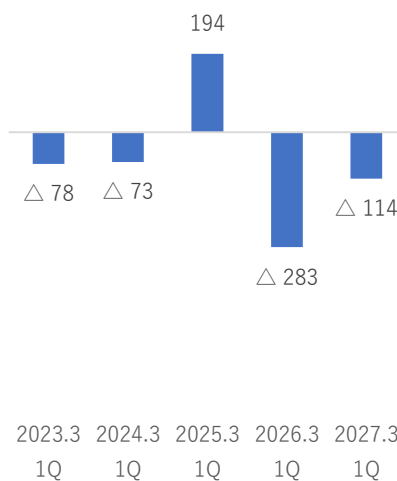
売上高



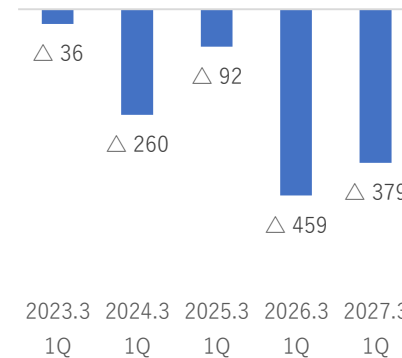
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益



セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

シンガポール： アジア及びアフリカ向け血液バッグが減少し減収
減収影響に加え、為替が不利に推移したため損失となったものの、前年同期
から損失幅は縮小

中 国： AVF針及び人工腎臓用血液回路が好調に推移し増収
為替不利の影響を増収効果により吸収

（単位：百万円）

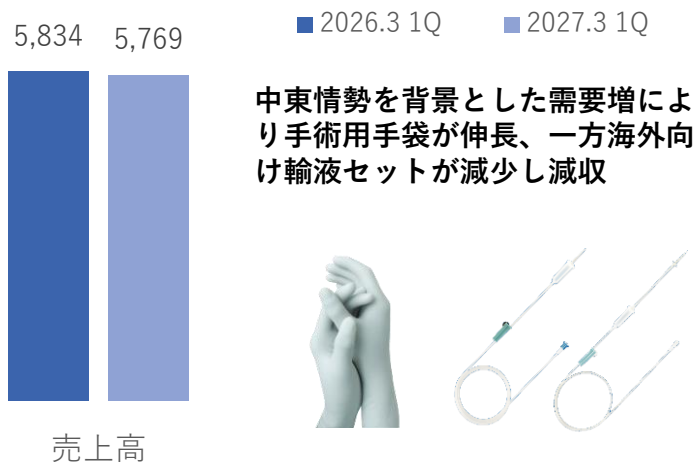
		2026年 3月期 1Q	2027年 3月期 1Q	増減額	増減率
日本	売上高	10,545	10,574	29	0.3%
	利益	121	145	24	19.9%
シンガポール※	売上高	5,639	5,191	△ 448	△ 7.9%
	利益	△ 248	△ 124	123	—
中国	売上高	922	1,181	258	28.0%
	利益	1	111	110	—
フィリピン	売上高	839	901	62	7.4%
	利益	△ 150	△ 160	△ 10	—
ドイツ	売上高	1,080	956	△ 124	△ 11.5%
	利益	129	104	△ 24	△ 19.1%
その他※	売上高	1,483	1,121	△ 362	△ 24.4%
	利益	△ 43	△ 54	△ 10	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

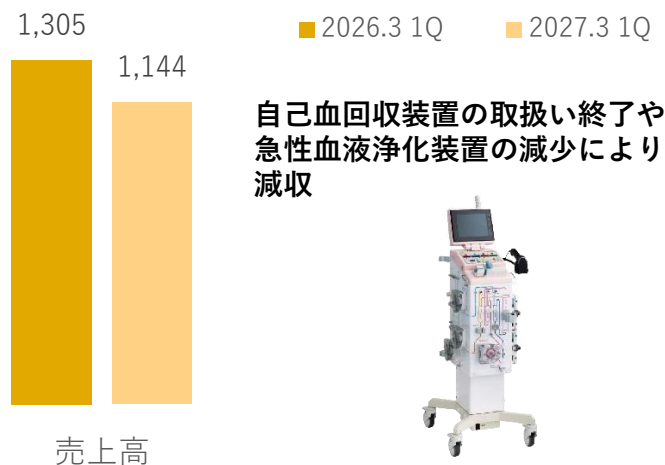
※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

輸液・栄養領域



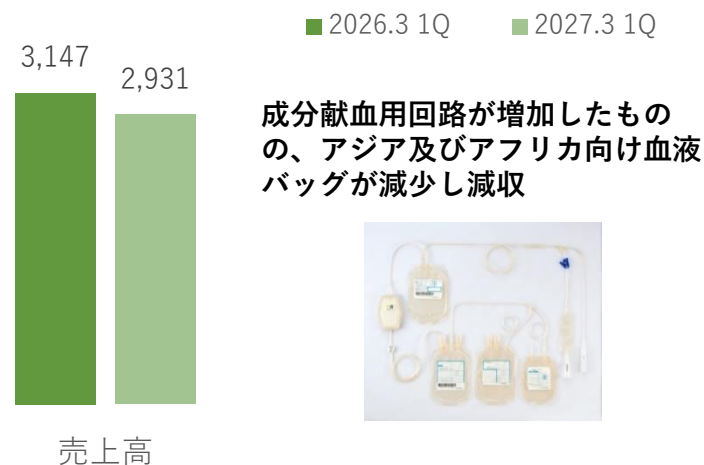
外科治療領域



透析領域



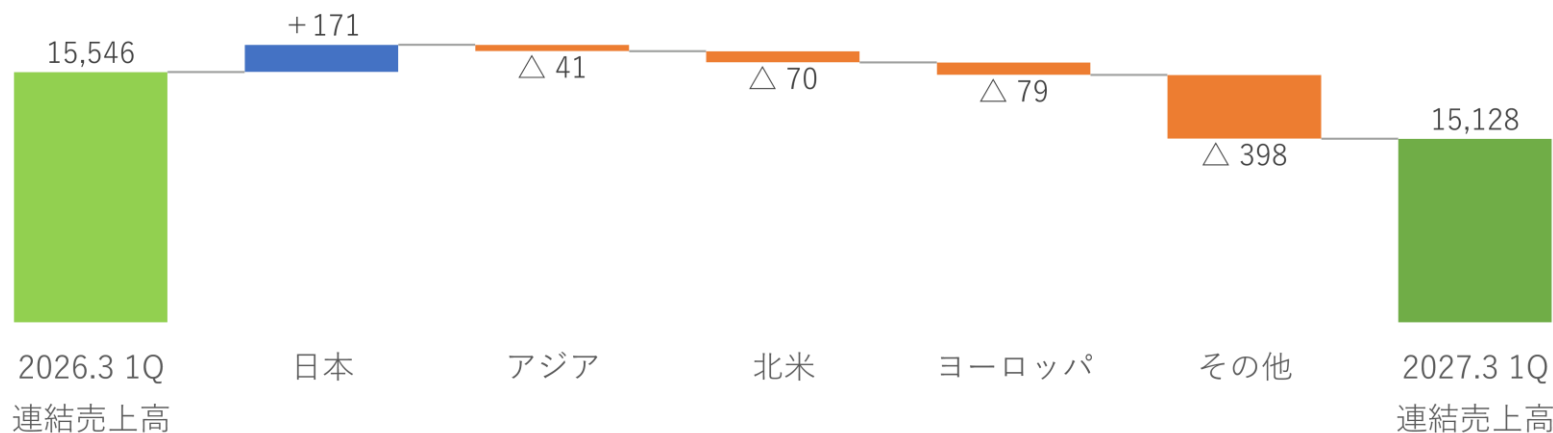
血液・細胞領域



日本は、薬剤調製・投与クローズドシステムや手術用手袋が伸長し増収
海外は、成分献血用回路やAVF針が堅調に推移したものの、アジア及びアフリカ向け血液バッグが減少し減収

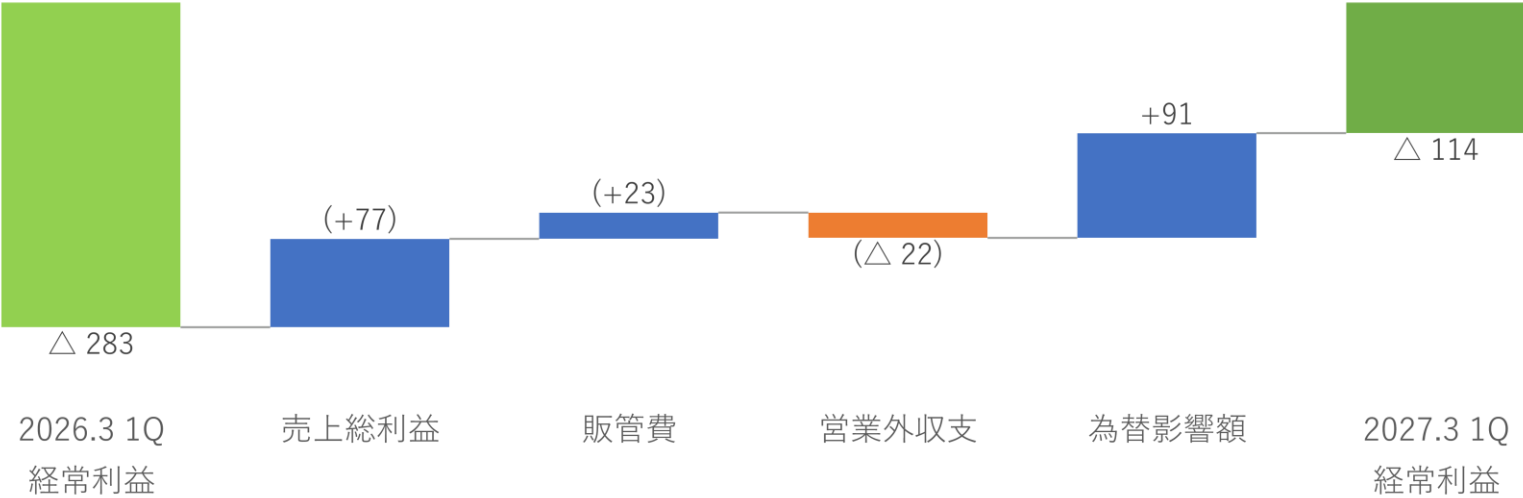
(単位：百万円)

	2026年 3月期 1Q	2027年 3月期 1Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	9,580	9,751	171	1.8%	64.5%
アジア	2,107	2,065	△ 41	△ 2.0%	13.7%
北米	1,637	1,567	△ 70	△ 4.3%	10.4%
ヨーロッパ	1,577	1,498	△ 79	△ 5.0%	9.9%
その他	643	245	△ 398	△ 61.9%	1.6%



海外主力製品の減収影響があったものの、コスト削減効果により売上総利益は改善、為替差損の縮小が寄与し、経常損失は縮小

(単位：百万円)
※ () は為替の影響を除く



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2026年 3月期 1Q	144.59 円	160.50 円	111.11 円
2027年 3月期 1Q	159.49 円	183.65 円	124.60 円

業績予想については、2026年5月12日公表時から変更しておりません

(単位：百万円)

	2026年 3月期	2027年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	65,845	66,000	0.2%
営業利益	381	1,000	162.1%
経常利益	356	900	152.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△783	600	—

※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、
1米ドル＝150円、1ユーロ＝175円、1シンガポールドル＝117円としております。

- 売上：** 日本国内では、一部取扱いを終了した製品があるものの、薬剤調製・投与クローズドシステムの診療報酬加算による需要拡大により増収を見込む
海外では、一部地域での取扱い品目減少があるものの、欧州・中国を中心としたAVF針の販売伸長、成分献血用回路及び血液バッグの需要回復により増収を見込む
- 利益：** 主力製品の伸長により増益を図る一方で、原材料・エネルギー価格の上昇に対し、適宜価格改定を進めるとともに、コスト削減、販管費の効率化を徹底することで、収益性を確保しながら製品の安定供給を実現する



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。